

よくわかる！ Cloudflare OS 導入支援ガイド

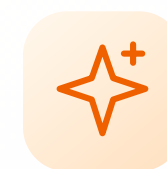
できること・進め方・費用を、14枚で。



CONNECT

社内の情報をつなぐ

文書・メール・業務データ



CREATE

AIが探す・まとめる

回答案・資料の下書き



REVIEW

人が確認して使う

権限と承認のルールも一緒に



AIを試す、その先へ。 **毎日の仕事に実装する。**

AI導入が止まる理由は、3つ。

ツールを入れることと、現場で使い続けられることは、別の課題です。

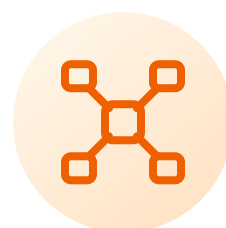


01

使い道が曖昧

ツールはある。
でも、何を変えるかが未定。

☑ 対象業務とゴールを決める



02

検証で止まる

デモは動く。
でも、本番の運用が決まらない。

☑ 小さな検証から運用まで設計



03

管理が後回し

使い始めた。
でも、権限や記録が未整理。

☑ 使う前に、ルールを整える



必要なのは、業務・技術・運用をつなぐ支援。

社内の情報を、使える仕事につなぐ。

Cloudflare OS は、自社のCloudflareアカウントで使うAIエージェント基盤です。



仕組みの概念図です。接続先・権限・機能は要件に応じて設計し、個別開発が必要な場合があります。



情報をつなぐ → AIで整理 → 人が判断。

「探す・書く」を、**回答案の確認**へ。

過去の回答や社内FAQを使い、担当者が判断しやすい状態まで整えます。

1 問い合わせを受け取る



「手続きの流れを
教えてください」

メールやチャットから
相談内容を整理する

2 関連情報を探す



社内FAQ

過去の回答

手順書

根拠になる資料と
回答の下書きをまとめる

3 人が確認して返信



返信の下書き

- ✓ 伝える内容を確認
- ✓ 根拠と条件を確認



担当者が内容を判断し、
確認後に送信する

想定業務例です。導入実績や効果を示すものではありません。送信・契約変更などの操作は事前にルールを定めます。



対応の判断に集中できるよう、**準備をAIが支える。**

集計に追われる時間を、考える時間に。

各部門の数字をまとめ、会議で確認したい点を見つけやすくします。

BEFORE 手作業で準備



集める。転記する。
資料にまとめる。

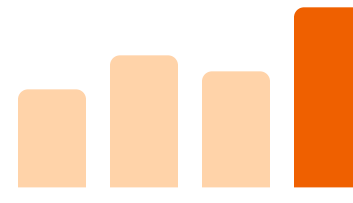
複数のファイルを行き来して、会議のたびに準備。



WITH AI 下書きから検討

会議サマリー

説明用イメージ



- 数字の変化
- 確認すべき案件
- データの参照元

要点を確認して、
次の判断へ。

想定業務例・概念図です。グラフは実測値ではありません。AIの出力は、元データと照合して確認します。



AIに任せるのは整理。意思決定は、人が行う。

AIにも、仕事のルールを。

使いやすさと管理のしやすさを、導入の最初から一緒に考えます。



ACCESS

見せる範囲を決める

必要な情報から接続。
最初は読み取り中心で始める。

社員ID連携 / アクセス制御



APPROVAL

動かす前に確認する

送信や更新などの操作は、
必要な承認を定義する。

Gatekeeper / 操作権限



VISIBILITY

あとから確認できる

利用ログと費用を確認し、
運用の改善につなげる。

監査ログ / AI Gateway



誰が・何を使い・どこで確認するかを明確に。

選ぶ・つくる・使うまで、一緒に。

業務の理解から実装、社員への研修、運用定着までをつなぎます。

① 選ぶ

業務選定・効果の設計

対象業務と、効果を測る指標を整理

小さく試す検証

少人数で試し、本導入を判断

② つくる

認証・システム連携

社員IDと社内システムを接続

権限・ログ・費用の設計

許可する操作と管理方法を明確に

③ 使い続ける

研修・手順書の整備

管理者と利用者、それぞれを支援

運用と業務の改善

利用状況を見て、次の業務へ展開



開発だけで終わらない。現場で使える状態まで。

最初は、小さな範囲で試す。

PoC（小規模な検証）で、効果と課題を確かめてから本導入を判断します。

参加者 **5～10** 人 

対象業務 **1～2** 業務 

期間 **1～2** ヶ月 

先に、評価するポイントを決める

時間 準備や確認の時間は、どう変わったか

品質 内容は妥当か。修正はどれくらい必要か

運用 現場で使えるか。確認の手間は適切か

費用 利用料を含め、続けられる見通しか

人数・対象・期間は目安です。効果や削減時間を保証するものではなく、目標と評価方法は個別に設定します。



検証のゴールは、次に進むか判断できること。

確かめてから、次のステップへ。

各段階で、対象範囲・費用・成果を確認しながら進めます。

STEP 0



無料業務診断

目安 1～2週間

業務の棚卸し
動くサンプルAI
検証計画の提案

この段階で判断

どの業務を試すか

STEP 1



限定PoC

目安 1～2ヶ月

小規模な環境構築
読み取り中心の検証
効果と課題の測定

この段階で判断

本導入へ進めるか

STEP 2



本導入

目安 2～4ヶ月

本番環境と社内連携
権限・ログの設計
利用規程と研修

この段階で判断

現場で運用できるか

STEP 3



運用・定着

継続・1ヶ月単位

利用状況を確認
業務フローを改善
部門への展開

この段階で判断

次にどこへ広げるか



いきなり全社導入ではなく、段階ごとに判断。

動く仕組みと、引き継げる資料。

社内で説明できる。担当者が引き継げる。改善の根拠を残せる。



意思決定のために

社内で説明する



主な成果物

- ☑ 業務棚卸し一覧表
- ☑ 業務改善方針書・ROI試算
- ☑ 導入効果測定レポート



システム担当のために

運用を管理する



主な成果物

- ☑ Gatekeeper設計書・構成図
- ☑ 接続設定仕様書
- ☑ 生成AI利用規程



日々の業務のために

チームで使う



主な成果物

- ☑ 業務別プロンプト集
- ☑ 操作手順書・業務マニュアル
- ☑ 研修実施報告書

主な成果物の例です。納品対象・詳細度・形式・利用条件は、プランと契約範囲に応じて合意します。OSS等には各ライセンスが適用されます。



導入のあとも、貴社で使い続けられる形に。

必要な段階から、予算を明確に。

対象業務・人数・接続先・支援範囲を確認し、個別にお見積もりします。

STEP 0

無料業務診断

0円

期間目安：1～2週間

✓ 業務の整理

✓ 動くサンプルAI

✓ PoC提案書

STEP 1

PoC パック

60万円～

期間目安：1～2ヶ月

✓ 少人数・1～2業務で検証

✓ Access・AI Gateway設定

✓ 効果測定・判断資料

STEP 2

スタンダード導入

180万円～

期間目安：2～4ヶ月

✓ 本番環境・社員ID連携

✓ 2～4システムの接続

✓ 利用規程・社員研修

STEP 3

運用・定着支援

15万円～ / 月

期間目安：継続・1ヶ月単位

✓ ログ・コストの確認

✓ 業務改善・追加連携

✓ 定期レポート・研修

料金・期間は目安です。税の取扱いと正式な条件は個別見積りで明示します。各料金は、全工程の合計金額ではありません。



支援費用と外部サービス利用料は、分けて確認。

見積もりは、2つの費用で考える。

支援する作業の費用と、システムを使い続ける費用を整理します。



IMPLEMENTATION SUPPORT

導入・運用の支援費用

- ✓ 業務設計・検証・本番環境の構築
- ✓ 社内連携・権限やログの設計
- ✓ 利用規程・研修・運用改善

支援の範囲に応じて、個別にお見積もり



EXTERNAL SERVICES

外部サービスの利用料

- ✓ Cloudflareの実行基盤・認証など
- ✓ AIモデルの利用・推論
- ✓ 接続先サービスの契約プラン

利用量・構成・契約プランにより変動

契約前にそろえる項目	対象業務	接続先	納品物	外部利用料・税	支払条件
------------	------	-----	-----	---------	------



何が含まれ、何が別途か。始める前に合意。

相談の前に、5つの確認。

分かる範囲だけで大丈夫です。未定の項目は、診断と一緒に整理します。

◎ **対象の仕事** 誰が、何を、どれくらい行っている？

📁 **使う情報** どこにあり、誰が参照できる？

📈 **判断する指標** 時間・品質・費用の何を確かめたい？

👥 **社内の体制** 業務担当・情報システム担当・承認者は？

🕒 **予算と時期** いつ、どの範囲から検証したい？



最初から、 要件書は不要。

「資料を探すのが大変」
「同じ質問に何度も答える」
そんな困りごとから始めます。



まずは、困っている仕事をひとつお聞かせください。

まずは、動くものを見てから。

無料業務診断で、貴社に合う始め方を一緒に考えます。



業務の棚卸し

どの仕事から始めるかを整理



動くサンプルAI

実際の動きで、活用のイメージを確認



PoCのご提案

検証の範囲と費用の目安を共有

無料業務診断

0 円

期間目安：1～2週間

無料業務診断を相談する

cloudflareos.jp/contact/?topic=diagnosis

相談時点で、導入を決める必要はありません。



貴社で最初に変える仕事を、一緒に見つける。